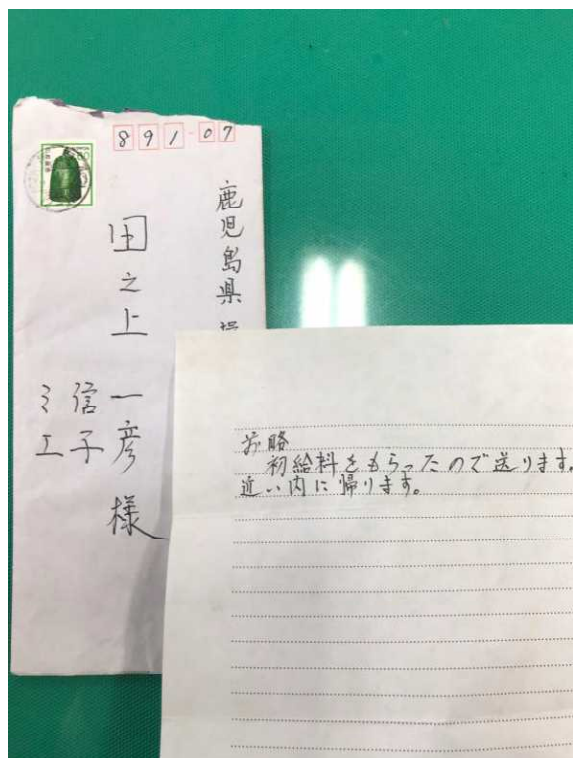


## 「初給料はお世話になった人に恩返しをせよ」の教え



写真は、今年9月に87年の人生を終え、黄泉の国へ旅だった父のバッグの奥底から出てきた手紙です。

それは、私が大学を卒業し、最初に赴任した大隅の学校から、両親と、当時一緒に暮らしていた祖母に宛てたものでした。

父の死から数日たったある日、母親から父のバッグの中からこんなものがでてきたよと見せられたものです。

私自身は出した記憶も無くなっていましたが、拙い文字から私が出したものに間違いはありませんでした。二行だけの味気ない文の手紙です。

しかし、父がその手紙を、大事にしまっていた（忘れていたのかもしれませんが）のを驚いたと同時に、保管しておきたい気持ち

にした標題の教えを実践した自分に安堵もしました。「親孝行」という言葉は、現在は死語に近いのかもしれませんが、やはり大事だと改めてその手紙を見て感じました。

今となっては叶いませんが、父がどんな気持ちで手紙を保管していたのだろうか聞いてみたい気持ちにもなります。

3年生は、いよいよ高校生活最後の学期が近づいています。

**共通テスト・私学受験、本命の看護学校受験等、年末年始、正月も返上で頑張る生徒には、大きな大きなエールを送ります。**

進学・就職が既に決まっている生徒も応援してください。

そして、将来、親元やお世話になったところを離れたら、**必ず手紙で感謝の気持ちを伝えてください。**私が書いたような拙いものではなく、心のこもった手紙を書いてください。

初めての給料をもらったら、お世話になった親に、お世話になった方に恩返しができる心優しい明桜館生であることを願っています。